

---

# RPGノススメ

ナナコ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

RPGノススメ

### 【著者名】

ナナコ

### 【あらすじ】

魔物と人間が住まう世界。そんなありきたりな展開から物語は始まる。。。

## 第一幕・田覚め

ジリリリリリツ！！  
カチッ

“ は田覚めた ”

名前を記入して下さい。

マイン

“『マイン』でよろしいですか？”

はい

“ マインは田覚め…… ”

マイン

「 つるせえよ……ちつちつかう、『チャ』『チャ』と……一回並べば分か  
んだろー。 」

“ マインは怒つ …… ”

マイン

「 つるせーつてー。 」

はあ。朝から疲れたぜ……。何で朝から怒鳴つてんだか……。  
しつかしこれからはずつとこの声と一緒になんて……。実際聴こえるとす  
っぺえウザイ。

“マインは説明を始めた”

改めて、俺の名前はマイン。タノス村と言う小さな村に住んでいる。  
ここはカンベラと言う世界。人間と魔物が住まう世界。言い伝えだと遙か昔、隕石が落ちた時、数種類の魔物の卵が一緒に落ちてきたらしい。魔物はそれからどんどん数も種類も増えていった。  
そこで人類は魔物との生存を賭けた戦いを始めた。あるものは剣を、  
あるものは魔法を使い、魔物と戦った。そんな歴史がもう数百年続  
いた……。

前置きが長かつたな……

そんなこんなで俺も世界を救うべく魔物退治の旅に出ることになつ  
た。  
これからはハンターと云ふことになります旅に出るに従つて、魔物退治に出掛ける人はしなくてはならないこ  
とがある。

ハンターは皆、『ナジラーム』と言う魔物撃退協会に申請し、ハン  
ターランクをもらわなくてはいけない。

## 第一幕：ハンターランク

ハンターランクについて説明しようか。この世界ではさつきも言ったようにナジラームという協会がある。最初にそこへ行ってランク査定を行つてもらう。ランクは3A，2A，A，B，C，Dの六段階。

ハンターはこのランクと任務の難易度を見比べて任務を決定する。実際、3AはDの数百倍お金が貰えるが危険度も数段高くなる。ワニランクあがるだけでも危険度は結構上がる。

だから余程腕に自信がないと上級任務はこなせない。

更にこのランクは剣士、格闘家、魔法使い、治療人等に分かれており、それぞれが六段階のランクになっている。

いくつもの職種がある中で3つ3Aを持つか4つ2Aを持つと特別な称号『マスター』を名乗れる様になる。マスターは貰えるお金が半端ない。一回の任務で3Aの数十倍のお金が貰える。しかしそれなりに危険が伴う。

本来、任務は2人～3人で行う。まあ場合によつては8人とか数十人になつたりもするけど。でもマスターは全任務を1人で、多くて2人で行わなくてはならない。

そこで開発されたのがさつきから聴こえる“あの声”。ナジラーム特製のオペレーションシステム『サバイバル』。

ハンターランクを貰うと同時に貰える機械。何故今俺が持っているかと言うとハンター申告を申し込むと仮の機械を借りれる。正式に貰えるのがハンターランクを貰つてからだ。任務に出ているハンターの状況を隨時ナジラーム本部に伝えてくれる。このシステム開発

により、ハンターの死亡率がグッと減つたらしい。

「…こんな感じかな…。また言いたい事があつたら後で話すよ。

“マインは説明を終えた”

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6333c/>

---

RPGノススメ

2010年11月12日07時30分発行